



〔発行所〕 一般社団法人 儀礼文化学会
〒160-0012 東京都新宿区南元町 13-7
電話 03 (3355) 4188



明治記念館



大宮八幡宮 十五夜の神遊び斎行

十五夜の杜で神に捧げる音舞台

〔東京都杉並区 十五夜の神遊び・月の音舞台〕

文 大宮八幡宮 宮司 鎌田紀彦

写真提供 大宮八幡宮

月の音舞台終了後には、当宮総合結婚式場清涼殿にて、この日に因んだ特選料理「月見御膳」を賞味する「月見の宴」も和やかなうちに催された。

旧暦の八月十五日（本年は十月六日）の十五夜に合わせて、十月四日に第二十五回「十五夜の神遊び」が斎行された。神遊びとは神慰め、神祭りのことであり、この十五夜の神遊びは平成十三年より催されている。まず夕刻に御社殿にて仲秋祭が斎行され、続いて陪観の人々等によって境内に設置された竹燈籠約一、三〇〇基に火が点された。その後、神楽殿にて当宮職員による神楽「浦安の舞」が奉奏された。

続いて、杉並区の後援をいただいた「月の音舞台」が神楽殿にて開催。演奏者は広く国内外で注目を集め、今回で十四回目の出演となる尺八奏者き乃はち氏である。虫の音すだく鎮守の杜に響き渡る尺八の澄んだ音色は、深く静かに心に染み渡り、神々と自然と音楽との調和を感じるひとときとなった。



き乃はち氏による「月の音舞台」奉納演奏

●十五夜の神遊び・月の音舞台
東京都杉並区大宮 大宮八幡宮
祭日 旧暦八月十五日または
旧暦九月十三日直近の土曜日